

目次

成業謳歌……………	島村輝	(2)
佐藤裕子先生へ……………	学科専任教員一同	(4)
佐藤裕子教授 経歴・研究活動・担当授業科目……………		(6)
<hr/>		
文学とは何か?……………	佐藤裕子	(12)
——夏目漱石「一夜」を考える——		
『続古事談』写本(フエリス女学院大学附属図書館蔵)の……………	勝田耕起	(24)
翻刻と国語学的私注(5)		
大物主神祭祀と初国の成立……………	松田浩	(39)
——『古事記』のモノとコトの論理の中での位置づけをめぐって——		
『源氏物語』葵巻におけるもののけ描写について……………	井内健太	(52)
——加持を中心に——		
現代に生きる古典文学……………	谷知子	(66)
——学生たちの取り組み——		
仲蔵はなにを演じたか……………	吉田弥生	(74)
——ドラマ考証の舞台裏——		
永代の両岸……………	島村輝	(80)
——志賀直哉「正義派」の「派」——		
謝朓と敬亭山……………	宋 吟	(92)
——祈雨詩群を中心に——		

鹿鳴を好む天皇……………長澤 風詩葉 (102)

——『日本書紀』仁徳天皇三十八年秋七月条をめぐって——

大伴家持「立山の賦」論……………藤 田 愛 結 (130)

——伝統の継承と新たな創造——

古典文学における「牡丹」……………西條(工藤)百華 (163)

男装の歴史……………深 澤 知 里 (180)

江戸のアイドル……………眞 田 真 子 (197)

——茶屋娘の研究——

融解する言語都市……………鳥 井 優 夏 (214)

——横光利一『上海』を中心に——

日本文学と蠱惑のアンドロギユノス……………中 野 明 日 香 (230)

ステラの君と踊る……………田 中 海 菜 音 (247)

十二歳のアポトーシス……………山 内 裕 子 (262)

二〇二二年度 修士論文・卒業論文題目……………(273)

彙報……………(277)

会則……………(278)

罵りの接頭辞「シヤ(シヤ)」の史的展開……………上 原 藍 (左16)

フェリス女学院大学 日本語教員養成講座30年史(1993-2022年)……………田 中 里 奈 (左1)

——カリキユラムの変遷と取り組み、および、今後の課題——

玉藻 第五十八号

二〇二四（令和六）年三月二十日印刷
二〇二四（令和六）年三月三十一日発行

編集兼 フエリス女学院大学国文学会

発行人 代表者 松田 浩

印刷所 メディア・パック

〒178-0061 東京都練馬区大泉学園町

六―一三―二〇

電話（〇三）五九四七―九一三五

発行所 フエリス女学院大学国文学会

〒245-8650 横浜市泉区緑園

四―五―三